

## ものづくりを技術面でサポート!

ものづくりのパートナー

香川県産業技術センター

香川県産業技術センターは、産業技術振興の中核機関として、研究開発、技術相談・指導、依頼試験・分析、機器開放、人材育成などを行い、地域企業の新製品開発や技術の高度化などを支援しています。

工業系部門と食品研究所は高松市郷東町に、発酵食品研究所は小豆島町にあり、地域企業に密着し、その技術ニーズに幅広く対応しています。

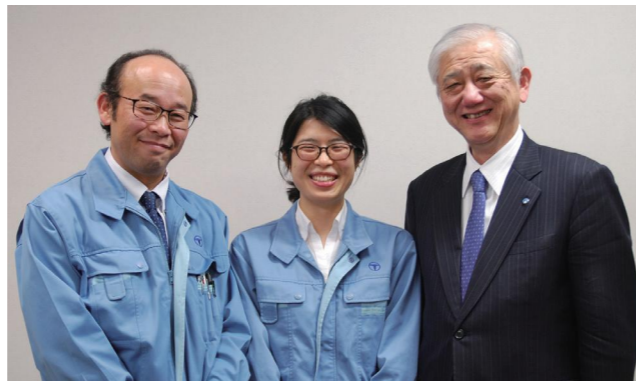
まずはお気軽にご相談ください。



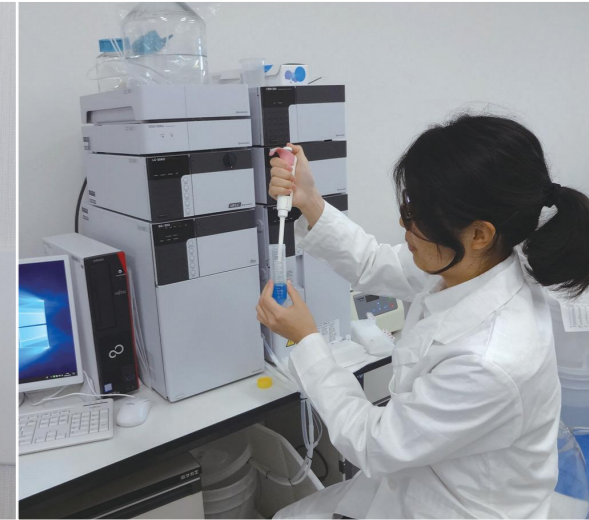
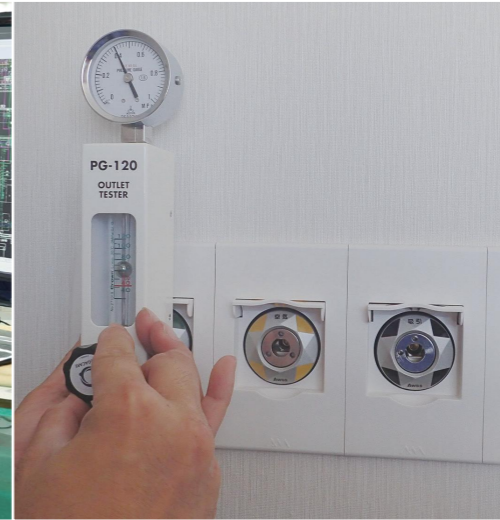
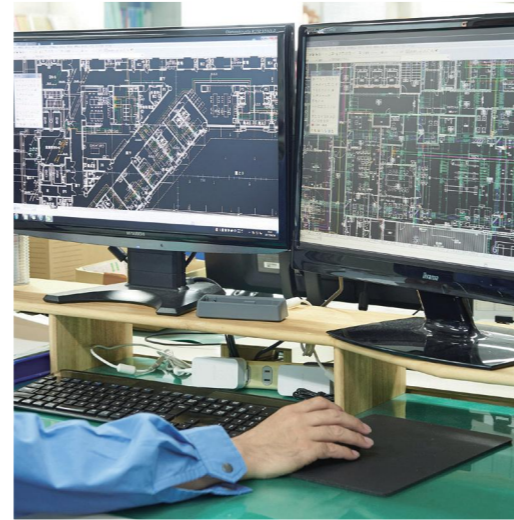
香川県産業技術センター（高松市郷東町587-1）  
☎ 087-881-3175  
発酵食品研究所（小豆郡小豆島町苗羽甲1351-1）  
☎ 0879-82-0034  
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/sangi/>  
Eメール: desk@itc.pref.kagawa.jp



移動式水素ステーション



荒木さん、大久保さん、太田社長（左から）



こうした多彩な事業展開を支えているのは、顧客との日常的なコミュニケーションと、さまざまな基盤技術者を育成する社内体制です。配管施工や溶接ロボット自動化システム、IoT、医療介護など多岐にわたる専門チームがありますが、ほとんどが入社後にスペシャリストの道

### 人の役に立つ喜びと使命感を胸に...

91年には在宅酸素療法のサービスを開始。酸素ガスの供給や機器のメンテナンスを通じて、医療機関と患者とのパイプ役を担っています。また、フッ素ガスを利用した樹脂やゴムへの表面処理技術を開発するほか、水素をエネルギーとする燃料電池自動車のために、香川初の移動式水素ステーションを開発するなど、次々と活躍の場を広げられました。



在宅医療用酸素濃縮装置

「私たちがガスという『モノ』ではなく、ガスを通じて顧客の求める『コト』を提供することを重視しています。人口減で市場縮小といわれる四国でも、13拠点のネットワークを生かし、お客さまと毎日コミュニケーションを取れる当社にとっては、四国のお客さまのキーパーソンになれるチャンスと考えているんです。ビジネスを超えた社会的使命と捉えている事業も多く、希少糖や水素ステーションなどは未来への夢も感じています」と太田社長。顧客に寄り添い、ガスを通じた社会貢献に取り組み同社の、深い使命感が垣間見えました。

問い合わせ先  
(公財)かがわ産業支援財団 産学官連携推進課  
☎087-840-0338

「ガスは元素から成り、元素は全て性質や用途が異なります。それぞれの性質をうまく生かすことで、生活に欠かせないものになっているんです。」  
直接目にする機会は少ないものの、私たちの生活を取り巻くさまざまな場面で使われる高圧ガス。高松帝酸は高圧ガス製造販売のエキスパートで、現社長の太田賀久さんは3代目に当たります。子供の頃から家業や物理学に興味を持ち、学生時代は実験の楽しさに夢中になったと言います。

例えば、ガスの需要が高い鉄鋼溶接分野では、溶接ロボットや自動化のシステムも自社で設計・提案。医療分野では、手術室や病室に医療ガスを歩み始めた人たち。「入社して初めて当社のガスが身の回りに深く関わっていることを知り、驚く社員も多いですね。人の役に立っていると誇りがあがると思いますよ」と、高松事業所所長の荒木聖文さん。食品の鮮度を保つガスや希少糖研究に使われるガスなど、食品用ガス部門を担当する入社4年目の大久保名津美さんも、「新しいことを学び、社会に発信できる喜びがある仕事です」と、生き生きとした様子です。

### 他社と差別化を図る 圧倒的な提案力

## 「モノ」から「コト」へ ガスを通じた社会貢献

### 挑戦する かがわ 13 ものづくり企業

今すぐビジネスにつながらなくても、夢がある。確かな専門知識とともに、自社社材を「どう使いこなすか」を日々研究し、社会貢献を目指し続ける香川のものづくり企業を紹介します。

高松帝酸株式会社  
住所 高松市朝日町5丁目14-1  
創業 1950年  
☎087-822-5222  
<http://www.takatei.co.jp/>

